

# 野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド (野村SMA向け)

## 運用報告書(全体版)

第8期(決算日2021年2月10日)

作成対象期間(2020年2月11日～2021年2月10日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券	
信託期間	2013年12月4日以降、無期限とします。	
運用方針	世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)受益証券を通じて、主として日本を含む世界先進主要国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行うことを基本とします。為替ヘッジはマザーファンドにおいて行うため、当ファンドにおいては原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村SMA向け)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村SMA向け)	株式への直接投資は行いません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への直接投資は行いません。 株式への投資は転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			参考指標 1ヵ月円LIBOR	債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税金	込配	み騰落 期中率				
	円		円	%	%	%	%	百万円
4期(2017年2月10日)	10,384		10	△0.7	△0.05	73.8	—	11,307
5期(2018年2月13日)	10,298		10	△0.7	△0.03	93.2	—	8,366
6期(2019年2月12日)	10,373		10	0.8	△0.08	80.3	—	7,500
7期(2020年2月10日)	10,641		10	2.7	△0.11	70.2	—	8,834
8期(2021年2月10日)	10,707		10	0.7	△0.09	75.1	—	12,493

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 1ヵ月円LIBORは、期中における1ヵ月円LIBORをもとに当社が独自に累積再投資し、算出したものです。

\* LIBOR : London Inter-Bank Offered Rate

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		参考指標 1ヵ月円LIBOR	債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰落	騰落率				
(期首) 2020年2月10日	円 10,641		% —	% —	% 70.2	% —	% —
2月末	10,668		0.3	△0.00	69.9	—	—
3月末	10,487		△1.4	△0.01	59.9	—	—
4月末	10,487		△1.4	△0.02	60.3	—	—
5月末	10,562		△0.7	△0.03	74.2	—	—
6月末	10,606		△0.3	△0.04	76.9	—	—
7月末	10,698		0.5	△0.04	77.9	—	—
8月末	10,691		0.5	△0.05	74.3	—	—
9月末	10,701		0.6	△0.06	74.3	—	—
10月末	10,694		0.5	△0.06	70.3	—	—
11月末	10,740		0.9	△0.07	74.1	—	—
12月末	10,759		1.1	△0.08	75.0	—	—
2021年1月末	10,740		0.9	△0.09	76.0	—	—
(期末) 2021年2月10日	10,717		0.7	△0.09	75.1	—	—

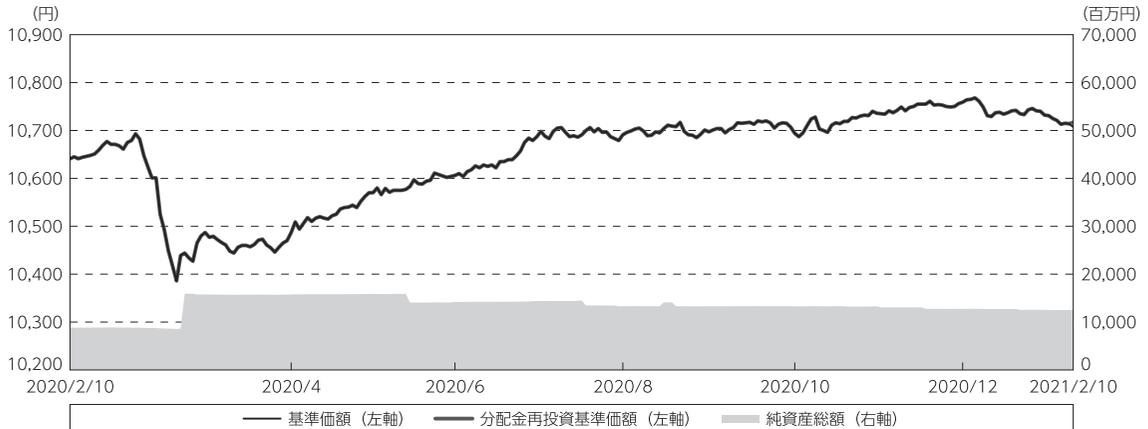
\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期 首：10,641円

期 末：10,717円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率： 0.7%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2020年2月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指標は、1ヵ月円LIBOR（＝London Inter-Bank Offered Rate）であり、利率表示のため、基準価額と併記する形でのグラフ掲載していません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

\* 基準価額は0.71%の上昇

基準価額は、期首10,641円から期末10,717円（分配金込み）に、76円の値上がりとなりました。

- (上昇) 米国などの債券利回りが低下（価格は上昇）したことによるキャピタルゲイン（値上がり益）。
- (上昇) 債券を保有していたことによる、インカムゲイン（利息収入）。
- (上昇) ユーロ高が進んだことによる為替差益。
- (下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト（金利差相当分の費用）。

## ○投資環境

### 債券市場<国債利回りは米国で低下、ドイツでほぼ変わらず、日本で上昇>

米国では、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、外出制限や店舗の営業停止といったロックダウン措置がとられたことによって経済活動が著しく落ち込みました。FRB（米連邦準備制度理事会）は、ゼロ金利政策や無制限の量的緩和、社債の買入れなど、非常に強力な金融緩和政策を打ち出しました。米国債利回りは、FRBによる非常に強力な金融緩和政策などを背景に期の前半に大幅に低下（価格は上昇）しました。期の後半には、強力な金融・財政政策の下支えのもと米国景気の回復が継続したことに加え、ワクチン開発の進展や追加財政刺激策への期待から、米国債利回りは低下幅を縮小させました。

ユーロ圏では、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて米国同様に著しい景気の落ち込みが見られました。ECB（欧州中央銀行）は緊急資産買入れプログラムを開始するなど大規模な金融緩和政策を打ち出したものの、追加的な金融緩和余地の乏しさなどが意識されたことで、期を通して見るとドイツ国債利回りは前期末比でほぼ変わらずとなりました。

日本では、日銀が金融緩和政策を打ち出したものの、更なる金融緩和余地が限定的であることが意識されたことで利回りは上昇（価格は下落）しました。

### 為替市場<円は米ドルに対して上昇、ユーロに対して下落>

為替市場では、FRBが非常に強力な金融緩和政策を打ち出す中で米ドルに下落圧力がかかり、米ドルは円に対して下落（円高）しました。また、期初には、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、安全資産としての円の需要が高まったことでユーロは円に対して下落したものの、緩和的な金融・財政政策に支えられて世界景気が反発する中で、市場のリスク回避的な姿勢が後退し、期を通して見るとユーロは円に対して上昇（円安）しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### 〔野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）〕

期を通じて〔世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド〕 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

### 〔世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド〕

米国、欧州（ユーロ圏・英国）、日本の国債などに分散投資を行ない、デュレーションを3～4年前後としました。通貨変動リスクを低減するために、ファンド全体の外貨エクスポージャー※はおおむね1～7%程度と低位に維持しました。年限別では、安定した収益の確保をはかるため、短・中期債への投資を中心としたほか、利息収入を期待できる長期債に投資しました。

※外貨エクスポージャーとは、外貨建て純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

参考指標としている1ヵ月円LIBORの収益率※が-0.09%となったのに対し、基準価額（分配金込み）の騰落率は+0.71%となりました。

※期中における1ヵ月円LIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したもの。

### （主なプラス要因）

米国などの債券利回りが低下したことによるキャピタルゲイン。

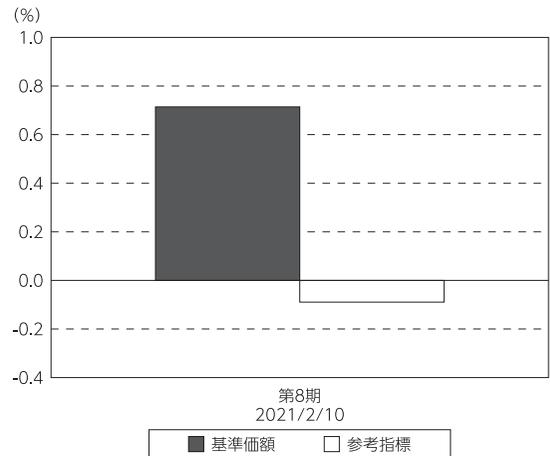
債券を保有していたことによる、インカムゲインが得られたこと。

ユーロ高が進行したことによる為替差益。

### （主なマイナス要因）

対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

基準価額と参考指標の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指標は、1ヵ月円LIBORです。騰落率は、当社が独自に累積再投資して算出したものです。

## ◎分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から1万円当たり10円とさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万円当たり・税込み）

項 目	第8期
	2020年2月11日～ 2021年2月10日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.093%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,123

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### [世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド]

今後の運用につきましては、引き続き地域や銘柄の分散に配慮しつつ、安定的な収益の確保をはかるために金利リスクを適切に調整した運用を行いません。邦貨建資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジを行なった資産の額との合計額は、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度の範囲内で、市場見通しに応じて調整を行いません。

### [野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）]

[世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

（2020年2月11日～2021年2月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 56	% 0.528	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(47)	(0.440)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	( 6 )	(0.055)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 4 )	(0.033)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	2	0.016	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 1 )	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	58	0.544	
期中の平均基準価額は、10,652円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

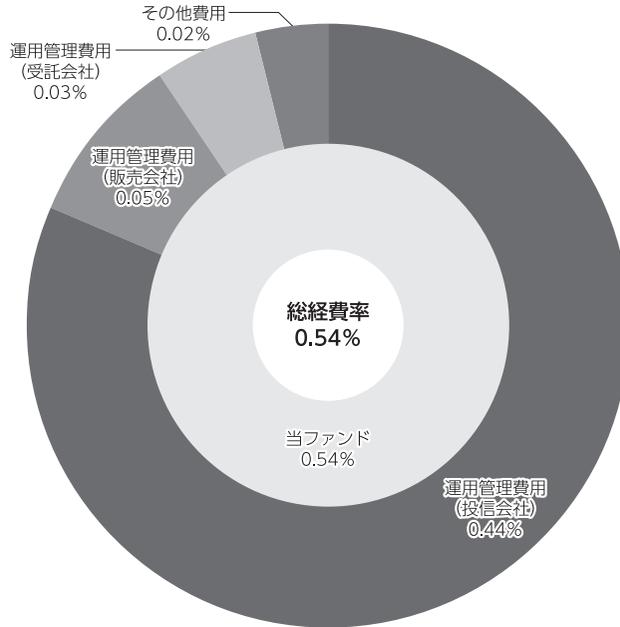
\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**(参考情報)****○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.54%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年2月11日～2021年2月10日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド	千口 6,376,962	千円 8,409,000	千口 3,764,410	千円 5,053,600

\*単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年2月11日～2021年2月10日)

## 利害関係人との取引状況

<野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）>  
該当事項はございません。

## &lt;世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド&gt;

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 38,033	百万円 204	% 0.5	百万円 33,489	百万円 -	% -
為替先物取引	256,525	2,441	1.0	262,212	329	0.1
為替直物取引	25,526	-	-	20,608	2,441	11.8

平均保有割合 41.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社、野村信託銀行です。

## ○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2020年2月11日～2021年2月10日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 0	百万円 -	百万円 0	百万円 -	当初設定時における取得とその処分

## ○組入資産の明細

(2021年2月10日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド	千口 6,597,450	千口 9,210,002	千円 12,480,474

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2021年2月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド	千円 12,480,474	% 99.5
コール・ローン等、その他	59,111	0.5
投資信託財産総額	12,539,585	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（23,585,549千円）の投資信託財産総額（32,942,837千円）に対する比率は71.6%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=104.62円、1カナダドル=82.38円、1英ポンド=144.50円、1スウェーデンクローナ=12.56円、1ノルウェークローネ=12.37円、1ユーロ=126.75円、1ズロチ=28.32円、1シンガポールドル=78.87円、1豪ドル=80.87円、1新シケル=32.18円、1メキシコペソ=5.21円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年2月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,539,585,562
コール・ローン等	58,811,112
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド(評価額)	12,480,474,450
未収入金	300,000
(B) 負債	46,536,414
未払収益分配金	11,667,702
未払信託報酬	34,724,072
未払利息	17
その他未払費用	144,623
(C) 純資産総額(A-B)	12,493,049,148
元本	11,667,702,524
次期繰越損益金	825,346,624
(D) 受益権総口数	11,667,702,524口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,707円

(注) 期首元本額は8,302,239,309円、期中追加設定元本額は8,091,434,986円、期中一部解約元本額は4,725,971,771円、1口当たり純資産額は1.0707円です。

## ○損益の状況（2020年2月11日～2021年2月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 8,386
支払利息	△ 8,386
(B) 有価証券売買損益	256,063,460
売買益	308,978,053
売買損	△ 52,914,593
(C) 信託報酬等	△ 71,074,878
(D) 当期損益金(A+B+C)	184,980,196
(E) 前期繰越損益金	122,562,547
(F) 追加信託差損益金	529,471,583
(配当等相当額)	( 968,600,253)
(売買損益相当額)	(△439,128,670)
(G) 計(D+E+F)	837,014,326
(H) 収益分配金	△ 11,667,702
次期繰越損益金(G+H)	825,346,624
追加信託差損益金	529,471,583
(配当等相当額)	( 976,914,773)
(売買損益相当額)	(△447,443,190)
分配準備積立金	333,993,933
繰越損益金	△ 38,118,892

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2020年2月11日～2021年2月10日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2020年2月11日～ 2021年2月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	122,334,943円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	976,914,773円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	223,326,692円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,322,576,408円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,133円
g. 分配金	11,667,702円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金（税込み）	10円
-----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

---

該当事項はございません。

# 世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド

## 運用報告書

第16期（決算日2021年2月10日）

作成対象期間（2020年2月11日～2021年2月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかることを目的として、運用を行うことを基本とします。 公社債への投資にあたっては、流動性の高い高格付の公社債に投資することを基本とし、為替ヘッジベースでの利回り水準、各国の金利見通し等を勘案してポートフォリオを構築することで、収益の確保を目指します。さらに、カンントリーアロケーション、デュレーションおよび為替ヘッジ比率をアクティブに変更することで、収益の獲得および利回りの向上を目指します。なお、先物取引等も適宜活用します。 邦貨建て資産の額と外貨建て資産のうち為替ヘッジ（他通貨による代替ヘッジを含みます。）を行った資産の額との合計額（実質的な邦貨建て資産の額）については、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度に維持することを基本とします。なお、外貨建て資産の他通貨による代替ヘッジについては、信託財産の純資産総額の10%程度の範囲内で行います。
主な投資対象	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換したもの等に関し、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		参考指標 1ヵ月円LIBOR	債組入比率	債券 優先物比率	純資産額
		騰落	中率				
	円		%	%	%	%	百万円
12期(2017年2月10日)	12,811	△0.2		△0.05	73.9	—	31,291
13期(2018年2月13日)	12,784	△0.2		△0.03	93.3	—	24,529
14期(2019年2月12日)	12,956	1.3		△0.08	80.4	—	25,578
15期(2020年2月10日)	13,377	3.2		△0.11	70.2	—	26,857
16期(2021年2月10日)	13,551	1.3		△0.09	75.2	—	32,258

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*1ヵ月円LIBORは、期中における1ヵ月円LIBORをもとに当社が独自に累積再投資し、算出したものです。

\*LIBOR: London Inter-Bank Offered Rate

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

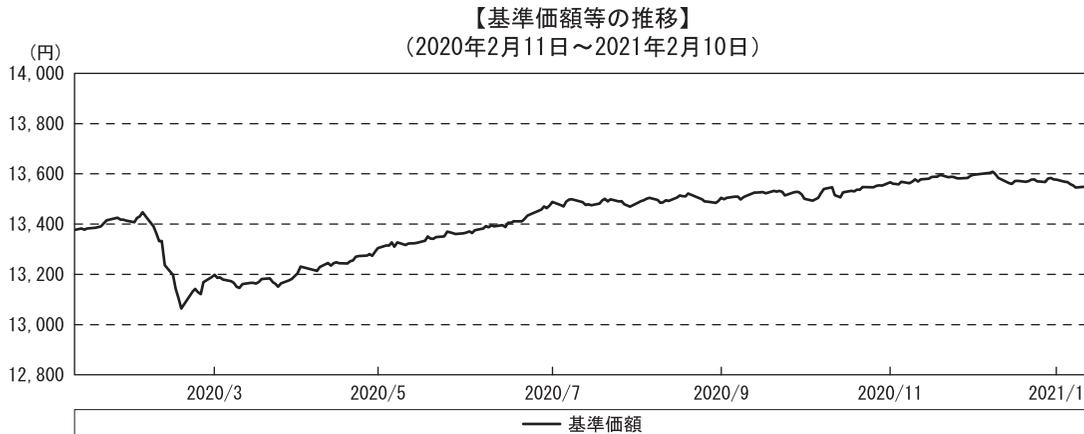
年月日	基準	価額		参考指標 1ヵ月円LIBOR	債組入比率	債券 優先物比率	債券 先物比率
		騰落	率				
(期首) 2020年2月10日	円		%	%	%	%	%
	13,377	—		—	70.2	—	—
2月末	13,414	0.3		△0.00	70.0	—	—
3月末	13,198	△1.3		△0.01	60.0	—	—
4月末	13,204	△1.3		△0.02	60.3	—	—
5月末	13,304	△0.5		△0.03	74.2	—	—
6月末	13,366	△0.1		△0.04	77.0	—	—
7月末	13,488	0.8		△0.04	78.0	—	—
8月末	13,485	0.8		△0.05	74.4	—	—
9月末	13,504	0.9		△0.06	74.4	—	—
10月末	13,501	0.9		△0.06	70.4	—	—
11月末	13,566	1.4		△0.07	74.2	—	—
12月末	13,596	1.6		△0.08	75.1	—	—
2021年1月末	13,577	1.5		△0.09	76.1	—	—
(期末) 2021年2月10日	円		%	%	%	%	%
	13,551	1.3		△0.09	75.2	—	—

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



(注) ファンドの参考指標は1ヵ月円LIBORであり、利率表示のため、基準価額と併記する形でのグラフ掲載はしておりません。

### ○基準価額の主な変動要因

\* 基準価額は1.30%の上昇

基準価額は、期首13,377円から期末13,551円に、174円の値上がりとなりました。

(上昇) 米国などの債券利回りが低下（価格は上昇）したことによるキャピタルゲイン（値上がり益）。

(上昇) 債券を保有していたことによる、インカムゲイン（利息収入）。

(上昇) ユーロ高が進んだことによる為替差益。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト（金利差相当分の費用）。

### ○当ファンドのポートフォリオ

米国、欧州（ユーロ圏・英国）、日本の国債などに分散投資を行ない、デュレーションを3～4年前後としました。通貨変動リスクを低減するために、ファンド全体の外貨エクスポージャー※はおおむね1～7%程度と低位に維持しました。年限別では、安定した収益の確保をはかるため、短・中期債への投資を中心としたほか、利息収入を期待できる長期債に投資しました。

※ 外貨エクスポージャーとは、外貨建て純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

参考指標としている1ヵ月円LIBORの収益率※が-0.09%となったのに対し、基準価額の騰落率は+1.30%となりました。

※ 期中における1ヵ月円LIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したもの。

### (主なプラス要因)

米国などの債券利回りが低下したことによるキャピタルゲイン。

債券を保有していたことによる、インカムゲインが得られたこと。

ユーロ高が進行したことによる為替差益。

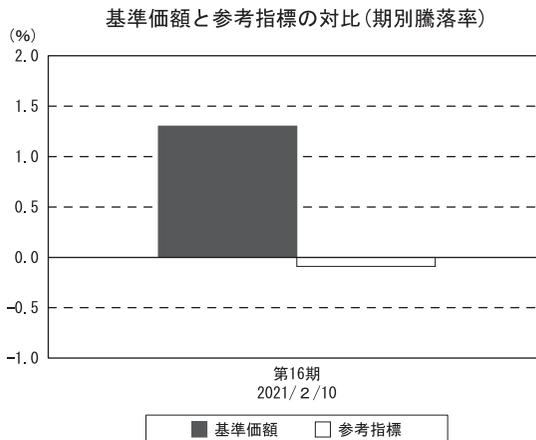
### (主なマイナス要因)

対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

## ◎今後の運用方針

今後の運用につきましては、引き続き地域や銘柄の分散に配慮しつつ、安定的な収益の確保をはかるために金利リスクを適切に調整した運用を行ないます。邦貨建資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジを行なった資産の額との合計額は、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度の範囲内で、市場見通しに応じて調整を行ないます。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



(注) 参考指標は1ヵ月円LIBORです。騰落率は、当社が独自に累積再投資して算出したものです。

## ○1万口当たりの費用明細

(2020年2月11日～2021年2月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.014	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(2)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	2	0.014	
期中の平均基準価額は、13,433円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年2月11日～2021年2月10日)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 5,021,963	千円 5,822,983 ( 100,000)
	特殊債券	204,400	—
外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル 101,373 68,332
		地方債証券	千米ドル 24,073 1,084
	イギリス	特殊債券	17,905 18,057
		国債証券	千英ポンド 2,864 —
		地方債証券	— 11,201
	スウェーデン	特殊債券	— 4,001
ノルウェー	国債証券	千スウェーデンクローナ — 12,958	千スウェーデンクローナ — 144,388
	特殊債券	— —	— —
	ノルウェー	千ノルウェークローネ 105,203	千ノルウェークローネ 46,760

		買付額	売付額
外	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	イタリア	国債証券 35,889	34,283
	フランス	国債証券 —	584
		特殊債券 4,281	5,505
	スペイン	国債証券 32,582	21,014
	ベルギー	国債証券 9,388	24,663
	ポーランド	国債証券 121,198	70,704
	シンガポール	千シンガポールドル 5,269	千シンガポールドル 5,288
	マレーシア	千リンギ 10,929	千リンギ 10,240
	国	オーストラリア	千豪ドル 4,632
		特殊債券 9,060	5,728
イスラエル		千新シェケル 49,402	千新シェケル —
メキシコ		千メキシコペソ 166,145	千メキシコペソ 119,636

\*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

\* ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年2月11日～2021年2月10日)

### 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	38,033	204	0.5	33,489	—	—
為替先物取引	256,525	2,441	1.0	262,212	329	0.1
為替直物取引	25,526	—	—	20,608	2,441	11.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2021年2月10日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	740,000	776,513	2.4	—	2.4	—	—
	(100,000)	(109,913)	(0.3)	(—)	(0.3)	(—)	(—)
特殊債券 (除く金融債)	200,000	203,906	0.6	—	—	0.6	—
	(200,000)	(203,906)	(0.6)	(—)	(—)	(0.6)	(—)
合 計	940,000	980,419	3.0	—	2.4	0.6	—
	(300,000)	(313,819)	(1.0)	(—)	(0.3)	(0.6)	(—)

\* ( )内は非上場債で内書きです。

\* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
国庫債券 利付(30年)第32回	2.3	100,000	133,711	2040/3/20
国庫債券 利付(20年)第169回	0.3	100,000	97,705	2039/6/20
国庫債券 利付(20年)第172回	0.4	140,000	138,646	2040/3/20
国庫債券 利付(20年)第173回	0.4	300,000	296,538	2040/6/20
ポーランド共和国 第13回円貨社債(2012)	2.5	100,000	109,913	2027/11/8
小 計		740,000	776,513	
特殊債券(除く金融債)				
フランス預金供託公庫 第4回円貨債券(2014)	0.725	200,000	203,906	2024/7/30
小 計		200,000	203,906	
合 計		940,000	980,419	

\* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 50,500	千米ドル 51,043	千円 5,340,160	% 16.6	% —	% 6.4	% 4.2	% 5.9
カナダ	千カナダドル 30,600	千カナダドル 33,375	2,749,434	8.5	—	4.5	4.0	—
イギリス	千英ポンド 2,000	千英ポンド 2,823	408,032	1.3	—	1.3	—	—
ノルウェー	千ノルウェークローネ 73,000	千ノルウェークローネ 78,516	971,250	3.0	—	—	3.0	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
イタリア	31,500	33,116	4,197,573	13.0	—	—	4.9	8.1
フランス	12,200	12,448	1,577,852	4.9	—	4.9	—	—
スペイン	17,000	18,613	2,359,292	7.3	—	1.5	5.8	—
ポーランド	千ズロチ 47,000	千ズロチ 51,044	1,445,582	4.5	—	1.2	3.3	—
オーストラリア	千豪ドル 20,800	千豪ドル 23,289	1,883,449	5.8	—	5.8	—	—
イスラエル	千新シェケル 47,000	千新シェケル 48,775	1,569,586	4.9	—	4.9	—	—
メキシコ	千メキシコペソ 143,000	千メキシコペソ 149,696	779,919	2.4	—	2.4	—	—
合 計	—	—	23,282,132	72.2	—	32.9	25.2	14.0

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		当期末					
		利率	額面金額	評価額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	US TREASURY N/B	0.25	13,000	12,894	1,349,009	2025/9/30	
	US TREASURY N/B	2.875	4,200	4,808	503,083	2028/8/15	
	US TREASURY N/B	1.625	3,500	3,675	384,507	2029/8/15	
	US TREASURY N/B	1.5	3,500	3,628	379,615	2030/2/15	
	US TREASURY N/B	0.625	8,100	7,726	808,361	2030/8/15	
特殊債券 (除く金融債)	JAPAN FIN ORG MUNICIPAL	2.125	2,500	2,500	261,571	2021/2/12	
普通社債券 (含む投資法人債)	CENTRAL NIPPON EXPRESSWY	2.241	5,000	5,001	523,306	2021/2/16	
	CENTRAL NIPPON EXPRESSWY	2.293	4,200	4,215	441,071	2021/4/23	
	CENTRAL NIPPON EXPRESSWY	2.362	3,500	3,519	368,226	2021/5/28	
	CENTRAL NIPPON EXPRESSWY	2.849	3,000	3,072	321,408	2022/3/3	
小計					5,340,160		
カナダ			千カナダドル	千カナダドル			
地方債証券	ONTARIO (PROVINCE OF)	2.6	11,000	11,867	977,605	2025/6/2	
	ONTARIO (PROVINCE OF)	2.9	4,000	4,465	367,856	2028/6/2	
	ONTARIO (PROVINCE OF)	2.7	1,900	2,097	172,753	2029/6/2	
	PROVINCE OF ALBERTA	2.9	7,300	8,119	668,890	2028/12/1	
	PROVINCE OF ALBERTA	2.05	3,000	3,117	256,855	2030/6/1	
	PROVINCE OF QUEBEC	2.75	3,400	3,708	305,473	2025/9/1	
小計					2,749,434		
イギリス			千英ポンド	千英ポンド			
国債証券	UK TREASURY	4.75	2,000	2,823	408,032	2030/12/7	
小計					408,032		
ノルウェー			千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ			
国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT	3.0	73,000	78,516	971,250	2024/3/14	
小計					971,250		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	5.0	8,000	8,459	1,072,234	2022/3/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	5.5	3,500	3,822	484,438	2022/9/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	1.45	8,000	8,240	1,044,512	2022/9/15
		BUONI POLIENNALI DEL TES	0.95	5,500	5,652	716,435	2023/3/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	0.95	1,500	1,543	195,581	2023/3/15
		BUONI POLIENNALI DEL TES	0.35	2,000	2,044	259,178	2025/2/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	5.0	1,000	1,211	153,530	2025/3/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	1.5	2,000	2,143	271,663	2025/6/1
フランス	特殊債券 (除く金融債)	AGENCE FRANCAISE DEVELOP	0.25	4,100	4,224	535,464	2029/6/29
		AGENCE FRANCE LOCALE	0.125	3,200	3,267	414,102	2026/6/20
		BPIFRANCE FINANCEMENT SA	0.05	4,900	4,956	628,285	2029/9/26
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.75	9,000	10,079	1,277,587	2024/10/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	—	2,500	2,540	321,992	2025/1/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.6	2,000	2,171	275,268	2025/4/30
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.3	3,500	3,822	484,443	2026/10/31
小計					8,134,717		

銘柄	当 期 末					償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
ポーランド	%	千ズロチ	千ズロチ	千円		
国債証券	POLAND GOVERNMENT BOND	2.25	35,000	37,541	1,063,185	2024/10/25
	POLAND GOVERNMENT BOND	2.75	12,000	13,502	382,396	2029/10/25
小 計					1,445,582	
オーストラリア			千豪ドル	千豪ドル		
特殊債券 (除く金融債)	BNG BANK NV	3.3	4,300	4,950	400,320	2028/7/17
	BNG BANK NV	1.6	4,000	4,003	323,784	2030/11/27
	KOMMUNALBANKEN AS	3.4	3,000	3,467	280,382	2028/7/24
	KOMMUNALBANKEN AS	2.4	4,000	4,337	350,781	2029/11/21
	LANDWIRTSCH. RENTENBANK	4.75	4,800	5,808	469,770	2026/5/6
	QUEENSLAND TREASURY CORP	1.75	700	722	58,409	2031/8/21
小 計					1,883,449	
イスラエル			千新シェケル	千新シェケル		
国債証券	ISRAEL FIXED BOND	2.25	12,000	13,399	431,186	2028/9/28
	ISRAEL FIXED BOND	1.0	35,000	35,375	1,138,399	2030/3/31
小 計					1,569,586	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT	5.75	143,000	149,696	779,919	2026/3/5
小 計					779,919	
合 計					23,282,132	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2021年2月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	24,262,552	73.7
コール・ローン等、その他	8,680,285	26.3
投資信託財産総額	32,942,837	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 当期末における外貨建て純資産 (23,585,549千円) の投資信託財産総額 (32,942,837千円) に対する比率は71.6%です。

\* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=104.62円、1カナダドル=82.38円、1英ポンド=144.50円、1スウェーデンクローナ=12.56円、1ノルウェークローネ=12.37円、1ユーロ=126.75円、1ズロチ=28.32円、1シンガポールドル=78.87円、1豪ドル=80.87円、1新シェケル=32.18円、1メキシコペソ=5.21円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年2月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	56,030,489,420
コール・ローン等	8,360,295,070
公社債(評価額)	24,262,552,153
未収入金	23,203,525,431
未収利息	162,255,597
前払費用	41,861,169
(B) 負債	23,771,618,836
未払金	23,771,116,552
未払解約金	500,000
未払利息	2,284
(C) 純資産総額(A-B)	32,258,870,584
元本	23,804,924,908
次期繰越損益金	8,453,945,676
(D) 受益権総口数	23,804,924,908口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,551円

(注) 期首元本額は20,077,398,190円、期中追加設定元本額は8,948,345,700円、期中一部解約元本額は5,220,818,982円、1口当たり純資産額は1,3551円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村S&M向け) 9,210,002,546円
- ・野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村S&M・EY向け) 7,843,808,646円
- ・世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型(非課税適格機関投資家専用) 5,782,803,767円
- ・オルウェザー・ファクター・アロケーション・投資(適格機関投資家専用) 678,553,868円
- ・野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(運用切り替え機態付・固定追加型) 210,733,264円
- ・野村オルウェザー・ファクター・アロケーションファンド(非課税適格機関投資家専用) 79,022,817円

## ○損益の状況 (2020年2月11日～2021年2月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	466,748,225
受取利息	470,135,939
支払利息	△ 3,387,714
(B) 有価証券売買損益	79,872,844
売買益	3,692,483,412
売買損	△3,612,610,568
(C) 保管費用等	△ 4,587,352
(D) 当期損益金(A+B+C)	542,033,717
(E) 前期繰越損益金	6,780,438,677
(F) 追加信託差損益金	2,917,354,300
(G) 解約差損益金	△1,785,881,018
(H) 計(D+E+F+G)	8,453,945,676
次期繰越損益金(H)	8,453,945,676

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。